

## 第3章 芦屋市が目指す環境の姿

### 1 芦屋市が目指す環境の姿

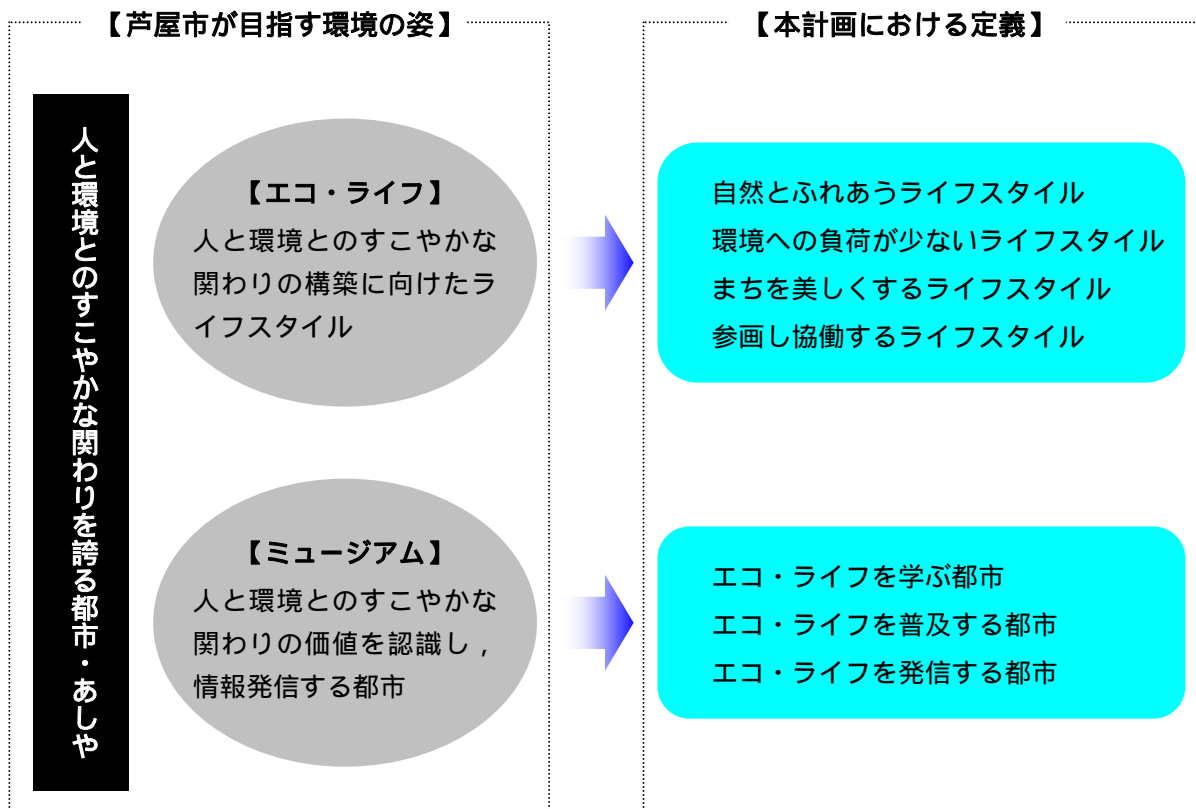
これまで整理してきた「環境の現状と課題」を踏まえ、長期的な視点に立って本市が目指す環境の姿を以下のように設定する。

### 人と環境とのすこやかな関わりを誇る都市・あしや

～エコ（ECO）・ライフ（LIFE）・ミュージアム（MUSEUM）～

「人と環境とのすこやかな関わり」とは、人が環境を健全な状態におくことによって、環境が人に快適な暮らしを提供してくれるという関わりを表現したものである。

本市が目指す環境の姿は、この「人と環境とのすこやかな関わり」を市民・事業者・市が参画と協働により築き上げていく中で、その価値を認識し、芦屋の誇りとして他の地域に向けて情報発信するとの願いを込めたものである。副題は「エコ・ライフ・ミュージアム」とする。



## 2 基本目標と基本方針

本市が目指す環境の姿である「人と環境とのすこやかな関わりを誇る都市・あしや～エコ・ライフ・ミュージアム～」を実現していくためには、人と環境との関わりについて市民・事業者・市がともに考え、すこやかな関係の構築に向けた取組を実行する必要がある。

本計画では、本市が目指す環境の姿を実現するために、5つの基本目標を設定する。また、基本目標の実現に向けた施策の方向性として7つの基本方針を設定する。

### (1) 基本目標の趣旨

基本目標は、「本市が目指す環境の姿を実現するための目標」、「環境に関わる課題に対応するための目標」として設定した。

基本目標の趣旨は、次のとおりである。

#### 【基本目標】

##### 芦屋エコライフの普及

本市の環境課題や本市が目指す環境の姿を共有し、それぞれの立場で実行すべき取組を考え、行動していくライフスタイルを芦屋エコライフと定義し、その普及を目指す。

#### 【基本目標】

##### 人と自然とのふれあいの推進

本市の自然が持つ潜在的価値を認識し、その保全及び創造に資する生活や事業活動の推進を目指す。なお、人と自然とのふれあいは、人が自然の価値を認識するために推進すべき活動であるが、自然に対して影響を与える側面を併せ持つことに配慮する。

#### 【基本目標】

##### 環境への負荷の低減

人間の活動による環境への負荷は、私たちの暮らしに影響を与えるだけでなく、負の遺産として次世代にもたらされる恐れや、地球環境問題の要因となる恐れがあることを認識し、環境に与える負荷の少ない社会の実現を目指す。

#### 【基本目標】

##### 美しいまちなみの保全

国際文化住宅都市という特性に配慮し、環境の保全という視点に立った、本市の美しいまちなみの保全及び創造を目指す。

また、本計画においては、まちなみの美化及び緑化について特に重視する。

#### 【基本目標】

##### 参画と協働の推進

市民・事業者・市の各主体が、それぞれの立場を互いに尊重しながら、その特性に応じた取組を進め、良好な環境を保全・創造するため、参画と協働を推進する。

(2) 基本目標の実現に向けた施策の方向性(基本方針)

基本目標とその実現に向けて設定する基本方針との関係は、次に示すとおりである。

基本方針は、その内容によって、複数の基本目標に対応する。

基本目標と基本方針の体系図

